

開催日時：2013年5月8日(水曜日) 19:00~21:15

開催場所：立川市柴崎会館 3階 学習室

出席者：武本孝史、宍道直己、渡部調匡、長野 寛、村松良記、山口善英、中嶋節子
綾部直明、江袋美恵子、江袋知子、久保田忠義、中嶋政代、関千秋、関矢モヨ、
増田正三郎（敬称略）15名

議題：

1. 武本会長のお話し：

- 淨土真宗築地本願寺から当協会HPを通じ、100千円のご寄附を頂きました。
- ネパール大使館主催のヒラリー卿によるヒマラヤ初登頂60周年記念式典が、6月1日、2日の両日東京タワーで開催され、当協会に「専用ブース」を頂きました。
- JITCO関連のネパール人への技術支援活動についての経過報告がありました。
- 会長は、5月12日～5月27日までネパールに滞在されます。

2. 社員総会審議事項の内容確認とその後の活動経過報告：

- 4月10日開催の「社員総会」で審議決定された件について綾部さんから内容の確認と主管官庁への関連書類提出、報告が完了した旨の報告がありました。
- 新任理事の村松良記、山口善英、江袋美恵子、中嶋節子4氏の挨拶がありました。
- 収益事業の試金石としての「真乗プロジェクト」からの助成金150千円が入金され、事務局作成案を基に新任理事をリーダーにし、実施計画をつくり、9月実施を目途にすることが決まりました。

3. ネパール大使館及び JITCO 関連の報告事項：

- ネパール大使館主催のレセプションに武本、増田、長野の3人が出席し、山岳関係、ネパール関係方々との交流に端緒を開くことができました。
- ネパール国政府から「出稼ぎ国家」脱却実現に向けての JITCO との橋渡し要請を受け、政府からの書状を JITCO 本部に提出し、担当部署の好意的対応を得ました。しかし、ネパール国の実状は、習得技術を活かす土壤が未だないため、まずは、東京に窓口事務所の開設実現への予算取得等を実現すべく要請することとしました。
- 現在稼働中の名古屋地区における「熔接技術習得」実施会社「大原工業」所属の中京地区の協同組合を合同会社ケイツー企画（代表菊池氏）に切り替えることから当協会賛助会員企業である同社との連携をビジネスにまで深めるか否かの議論の末、日本ネパール友好協会の活動趣旨と現状の実力に鑑み、現状通りのボランティアの域を出ないことが決定されました。
- ネパール大使館主催祈念式典の詳細計画と当協会からの参加体制は、武本さんからの報告を待ち、都合の付く会員が参加することとなりました。

以上